

西尾市事務評価シート

事務No.	50-031	事務内容	ふみくら (子ども)				
総合計画施策コード		事務開始年度	不明		担当課名	図書館	
予算科目	10款	05項	10目	大事業	06	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	図書館利用促進事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	一般市民に対し図書館の利用に必要な情報を提供をすることで、利用や来館を促すことを目的としている。また、子ども読書活動推進の一助とする。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内の園児・小学生
事務の概要 (具体的に何を)	図書館の利用方法や各種イベント、所蔵する資料の情報を告知する図書館の広報紙「子ども版」を毎月1回手作りで作成し、園、学校を通じて全員に配布する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	1,509,000円	1,509,000円	1,509,000円	
人 工	0.1人	0.1人	0.1人	
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	2,216,298円	2,219,461円	2,227,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	2,216,298円	2,219,461円	2,227,991円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.14%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額	
	消耗品費	印刷用紙代	131,098円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	ふみくら子ども版の年間発行枚数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	図書館入館者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	11円		11円		12円		

●事業の終期

事務No. 50-031

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	市民への図書館利用方法周知と利用促進のために図書館の広報紙の発行は欠かせないため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		3	受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		3	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
評価の総合的なコメント	全園児・小学生に毎月配布するというので、印刷、配布にとっても時間を要する。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	対象者に合わせた掲載内容等を検討する。また、原稿作成や印刷にかかる時間を見直す必要がある。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	印刷、配布を民間業者に委託することは可能であるが、委託費が高額であるため、実施は難しい。					
事務全体の課題	原稿作成や印刷に多くの時間と手間がかかる。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	子ども向け広報紙の発行枚数。A市…1440部、H市…7440部、G市…4800部、T市…9600部
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	他の周知方法を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	50-032	事務内容	ふみくら (大人)				
総合計画施策コード		事務開始年度	昭和60年		担当課名	図書館	
予算科目	10款	05項	10目	大事業	06	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	図書館利用促進事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	一般市民に対し図書館の利用に必要な情報を提供をすることで、利用や来館を促すことを目的としている。
事務の対象 (誰(何)のために)	一般市民
事務の概要 (具体的に何を)	一般市民に図書館の利用方法や各種イベント、所蔵する資料の情報を告知する図書館の広報紙「ふみくら大人版」を、手作り毎月読書の日(23日)に合わせて発行し、各図書館カウンター及び配布所で配布する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	466,000円	466,000円	466,000円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	1,173,298円	1,176,461円	1,184,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	1,176,461円	1,176,461円	1,184,991円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.27%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	消耗品費	ふみくら大人版印刷用紙代	2,675円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	ふみくら大人版の年間発行枚数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	図書館入館者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	324円		325円		327円		

●事業の終期

事務No. 50-032

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	市民への図書館利用方法周知と利用促進のためには、図書館だよりの発行は欠かせないため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2	
評価の総合的なコメント		現在の掲載内容は、新着資料及び図書を紹介が主体であるため、各館のイベントの内容掲載が不足している。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	市民のニーズを把握し社会情勢にあったものにする必要がある。また無駄を省き事務の省力化と事務時間の短縮と作成費用の節約に努める。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性		図書館のPR誌の作成は運営主体である市が実施することが適当と考えるが、分館(業務委託)のイベント紹介の部分を各館に依頼したり、市民に対し、おすすめ本の紹介を募集しその記事を掲載するなどを検討する。				
事務全体の課題		現在は主に本の情報だけの掲載だが、各館のイベントの情報も掲載する必要がある。				

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	A市：新着資料紹介のみ大人版、子ども版、ヤングアダルト向けの3種 H市：大人版、子ども版、ヤングアダルト向けの3種 G市：大人版、児童版、ヤングアダルト版の3種 O市：大人版、子ども版、ティーンズ向けの3種 K町：大人版のみ、学校掲示用に児童版を作成配布
---------------	---

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	他の周知方法を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	50-083	事務内容	映写会				
総合計画施策コード		事務開始年度	平成4年度		担当課名	図書館	
予算科目	10款 05項 10目	大事業	06	中事業	00		
事務事業名 (中事業名)	図書館利用促進事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	図書館と図書館所蔵資料の利用促進を図ることを目的としている。
事務の対象 (誰(何)のために)	一般市民
事務の概要 (具体的に何を)	図書館で所蔵する上映可能のDVDの上映会を月に1回、子ども向けと大人向けに分けて開催している。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	126,000円	126,000円	126,000円
人工	0.0人	0.0人	0.0人
人件費②	0円	0円	0円
総事務費③(①+②)	126,000円	126,000円	126,000円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	126,000円	126,000円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	著作権使用料	上映許諾サービス使用料	64,800円
	賃金	臨時職員賃金	61,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	映写会の参加者数(本館)					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		98 人		107 人		120 人	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	図書館の映像資料貸出数(本館)					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		9,500 点		10,438 点		11,500 点	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		1,286円		1,178円		1,050円	

●事業の終期

事務No. 50-083

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	内容等を見直して、図書館事業として継続していく必要があるため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	毎回の参加者数が少ない。PRをもっとすべきである。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	市民のニーズを把握し、多くの人が参加したいと思える上映作品の内容や時間帯を検討する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	図書館所蔵資料の上映は著作権上、所蔵する図書館が行う必要がある。					
事務全体の課題	どういった作品を希望するかなどのアンケートを取るなどし、市民ニーズを把握する必要がある。また、PR方法を検討する必要もある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	A市：年1回 H市：0回 O市：月1回程度 G市：0回 K町：0回
---------------	-----------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	費用対効果を検証し、他の利用促進を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	50-085	事務内容	クリスマス会				
総合計画施策コード		事務開始年度	平成4年		担当課名	図書館	
予算科目	10款	05項	10目	大事業	06	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	図書館利用促進事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	季節の行事であるクリスマス会を開催することで、市民の図書館に対する関心を深め、来館のきっかけづくりとすることを目的としている
事務の対象 (誰(何)のために)	一般市民(主に子どもとその親)
事務の概要 (具体的に何を)	クリスマスに関する読み聞かせや音楽演奏、人形劇、バルーンショー等を年により内容を変えて実施。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	99,000円	99,000円	134,000円	
人工	0.0人	0.0人	0.0人	
人件費 ②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	99,000円	99,000円	134,000円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	99,000円	99,000円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	0円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	消耗品費	バルーンショーの材料(ペンシルバルーン)	9,860円	
	賃金	臨時職員賃金	72,826円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	クリスマス会の参加者数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		94 人		110 人		100 人	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	図書館の資料貸出数(本館)					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		709,624 人		724,087 人		740,000 人	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		1,053円		900円		1,340円	

●事業の終期

事務No. 50-085

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	内容を見直したり、他の事業と統合するなどにより継続する必要がある。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	2	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	おおむね良好に実施できた。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	内容を見直し、おはなし会を主体としたクリスマス会にするなど、図書館が開催する意義のある行事としていく。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	ボランティアとの連携はすでに行っている。また、分館については委託業者が利用促進事業の一環として行っている。					
事務全体の課題	対象者が限られる。同時期に同じ内容の事業を他の施設等でも行っており、図書館でなければできない事業になりにくい。また、図書館内でも、他の利用促進事業で行う内容と似かよってしまうこともあるため、内容を検討する必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣自治体も同様の事業を行っている。
---------------	--------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	費用対効果を検証し、他の利用促進を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	50-089	事務内容	科学クラブ				
総合計画施策コード		事務開始年度	平成20年度		担当課名	図書館	
予算科目	10款 05項 10目	大事業	06	中事業	00		
事務事業名 (中事業名)	図書館利用促進事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	科学実験を通して図書館や本に親しんでもらい、図書館の利用促進を図ることを目的としている。
事務の対象 (誰(何)のために)	市内の小学生 1～3年生
事務の概要 (具体的に何を)	外部講師による科学実験講座を年3回開催。科学実験の内容に合わせた図書の紹介も行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	10,000円	6,000円	6,000円
人工	0.0人	0.0人	0.0人
人件費 ②	0円	0円	0円
総事務費③(①+②)	10,000円	6,000円	6,000円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	10,000円	6,000円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-4,000円	H29 総事務費③の対前年度比率	-40.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	本館での実施回数の減による講師謝礼の削減		
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	謝礼	講師謝礼	6,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	科学クラブの参加者数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		135 人		87 人		82 人	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	7歳～9歳の資料貸出点数(本館)					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		52,933 点		52,666 点		53,000 点	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		74円		69円		73円	

●事業の終期

事務No. 50-089

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成31年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	内容、回数、開催場所等の見直しをしていく。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	理由		内容	理由	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか		2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		2		事務時間は適切なものになっているか	2
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか		3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	2
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2
評価の総合的なコメント	人気の高い講座であり、毎回高倍率の抽選となる。そのため事務作業が大変になってしまうという欠点もある。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	開催場所、開催回数、講座内容を見直していく。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	平成29年度から分館（業務委託）でも開催している。					
事務全体の課題	市内全域の小学生を対象にしているが、開催場所に偏りがある。また、市内の他施設でも同内容の講座を開催しており、図書館で開催する必要性を検討し直す必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	0市:夏と冬に開催。
---------------	------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---------------------------